

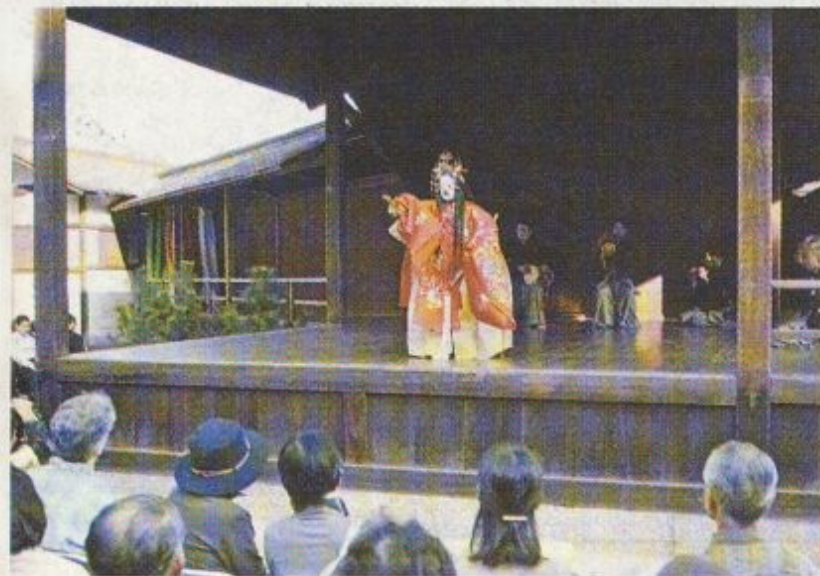
名舞台で幽玄な舞

福山・鞆の沼名前神社、能公演

備後文化

福山市鞆町後地の沼名前神社で十日、国重文の能舞台を使った「鞆の浦名舞台 雅の世界」(鞆の浦演能実行委員会主催)が開かれた。地元喜多流大島能楽堂の大島政允さん(六五)、長女衣恵さん(三三)、長男輝久さん(三三)親子らが幽玄な舞を披露し、市民ら約千人が堪能した。

市民ら1000人が堪能



中国の伝説を題材に作られた能舞「西王母」では、シテ方の衣恵さんが金糸の編み込まれたあでやかな仙女姿で現れ、観客の視線をくぎ付けに。扇を手に、皇帝の善政をたたえて華麗に舞った。仕舞「経政」や素囃子「早舞」も演じられた。

公演の間には、「能を身近に」と、囃子で使う太鼓や笛が解説され、舞台裏での装束の着付けも披露された。演目「鞆

天下太平を祝う「西王母」の仙女の舞。観客の視線をくぎ付けにした